

兵庫県内経済情勢報告

(平成 29 年 4 月判断)

1. 総論 「県内経済は、持ち直している」

【総括判断】

項目	前回 (29 年 1 月判断)	今回 (29 年 4 月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

(注) 29 年 4 月判断は、前回 1 月判断以降、4 月に入ってからの方下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は改善しているなど、全体としては持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回 (29 年 1 月判断)	今回 (29 年 4 月判断)	前回比較
個人消費	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる	→
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	28 年度通期は前年度を上回る計画となっている	28 年度通期は前年度を下回る見込みとなっている	↓
企業収益	28 年度通期は減益見込みとなっている	28 年度通期は減益見込みとなっている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策効果を背景に、持ち直しの動きが強まっていくことが期待される。ただし、企業活動などに影響を与える国内外需要の動向、海外経済の不確実性、為替の影響等に留意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる」

個人消費は、スーパーは、冷凍食品や惣菜などで好調に推移したものの、生鮮魚介類の不漁により関連商品も低調となるなど、弱い動きとなっている。コンビニエンスストアは、引き続き惣菜等の食料品が好調であった。百貨店は、気温の低下などで春物婦人服の動きが鈍かったことなどから全体としては伸び悩んでいるものの、化粧品や宝石などは堅調。乗用車新車届出台数は、低燃費車が好調なことなどから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 炒飯やパスタ等の冷凍食品や惣菜、産地直送の農産物、肉類は比較的好調に推移。生鮮魚介類はイカナゴの漁獲量が減少する等の影響もあり低調。(スーパー・大企業)
- 気温の低下等で春物婦人服の動きが弱かったが、化粧品や宝石、貴金属等は底堅い状況。(百貨店・大企業)
- レトルトパウチ惣菜等の食料品が引き続き好調。(コンビニエンスストア・大企業)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

生産活動は、輸送機械では旅客車が堅調なものの、船舶関連の動きは弱くなっている。また、自動車関連向けでは鉄鋼や情報通信機械などで順調となるなど、全体では緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 鉄道車両関連は、北米やアジア向けで引き続き堅調。一方、造船関連は、特にガス運搬船の受注環境が厳しくなっている。(輸送用機械・大企業)
- 鋼材については、国内や海外の自動車関連向けで好調。(鉄鋼・大企業)
- 無線やGPSなど通信系に係る自動車向けの部品が引き続き堅調。(情報通信機械・大企業)

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は1倍を超え、上昇しており、新規求人数、有効求人数はともに増加傾向にあるなど雇用情勢は、改善している。なお、法人企業景気予測調査(29年1~3月期調査)をみると、従業員数判断BSIは、「不足気味」超となっている。

(主なヒアリング結果)

- 新たな事業への業容拡大に加え、現場作業員の有給休暇の取得率向上のため、新規採用数は例年に比べ高い水準で推移。(鉄鋼・大企業)
- 退職者の補充や生産ライン増設などで人手不足感があり、中途採用を実施。(窯業・大企業)
- 人材の確保のため、大学卒以外にも、専門学校卒や高卒を積極的に採用予定。(宿泊・中小企業)

■ 設備投資 「28年度通期は前年度を下回る見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年1~3月期

法人企業景気予測調査(29年1~3月期調査)でみると、28年度通期の設備投資は、製造業は輸送用機械などが前年度を上回っているものの、非製造業は運輸、郵便などで前年度を下回っていることから、全産業では前年度を下回る見込みとなっている。

■ 企業収益 「28年度通期は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年1~3月期

法人企業景気予測調査(29年1~3月期調査)でみると、28年度通期の経常利益は、減益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業は減益見込み、中小企業は増益見込みとなっている。

【その他の項目】

- 住宅建設 新設住宅着工戸数（後方3か月移動平均）で見ると、前年を上回っている。
- 公共事業 公共事業を前払金保証請負金額（年度累計）で見ると、前年を上回っている。
- 輸出 神戸港の通関実績（円ベース）で見ると、前年を上回っている。
- 企業金融 法人企業景気予測調査（29年1～3月期調査）で見ると、資金繰り判断BSIは、「悪化」超となっている。金融機関の融資態度判断BSIは、「緩やか」超となっている。
- 企業倒産 企業倒産件数を3か月平均で見ると、前年を下回っている。
- 企業の景況感 法人企業景気予測調査（29年1～3月期調査）で見ると、企業の景況判断BSIは、「下降」超となっている。先行きについては、翌期は「下降」超で推移し、翌々期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。